

問題作成方針に関する検討の方向性

【公共、政治・経済】

- 『公共、政治・経済』では、必履修科目である「公共」と、その履修後に学習する選択科目である「政治・経済」を総合した範囲から出題する。
- 新学習指導要領に示されている「公共」及び「政治・経済」で育成することとされている資質・能力を一層重視したものと**なるよう検討**する。

[令和7年度試験の問題作成の方向性、試作問題等 | 大学入試センター \(dnc.ac.jp\)](http://dnc.ac.jp) (2022.11.9、大学入試センター)

【問題作成方針のポイント】

- ・令和7年度の問題作成方針では日本及び国際社会の諸課題について、「解決に向け」「考察したり構想したりする」ことが追記された。
- ・問題の作成に当たっては「様々な立場に立って話し合う場面等から必要な情報を読み取り、考察する問題」も検討される方針である。

問題作成方針

【令和7年度】

- ※「公共」は前スライドを参照ください。
- 「政治・経済」は、社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代における日本及び国際社会の**諸課題の解決**に向け、政治と経済を関連させて、多面的・多角的に考察したり**構想したりする過程**を重視する。
- 「公共」での学習などを踏まえ、「政治・経済」の学習によって深められた理解を基に政治や経済の基本的な概念や理論等を活用して考察する力を求める。
- 問題の作成に当たっては、各種統計などの多様な資料、**様々な立場に立って話し合う場面等から必要な情報を読み取り**、考察する問題などを含めて検討する。

参考【令和6年度】【政治・経済】

現代における政治、経済、国際関係等について多面的・多角的に考察する過程を重視する。現代における政治、経済、国際関係等の客観的な理解を基礎として、文章や資料を的確に読み解きながら、政治や経済の基本的な概念や理論等を活用して考察する力を求める。問題の作成に当たっては、各種統計など、多様な資料を用いて、様々な立場から考察する問題などを含めて検討する。